

令和5年度 学力調査の結果について

学力評価担当 主任教諭 依田 亜希子

今年度の全国学力・学習状況調査と杉並区特定課題調査について結果をお知らせします。

全国学力・学習状況調査及び杉並区の特定課題調査は国語・算数の2教科で、いずれも第6学年の児童を対象に実施されました。

① 全国学力・学習状況調査結果平均正答率 (%)

		本 校	東京都	全 国
国語	知識・技能	83.2	71.6	68.9
	思考・判断・表現	76.3	67.0	65.5
算数	知識・技能	83.3	71.5	67.2
	思考・判断・表現	76.3	61.2	56.5

(令和5年4月18日実施)

② 杉並区特定課題調査結果平均正答率 (%)

		本 校	杉並区
国語	教科全体	78.1	72.9
	基礎	87.7	82.7
	活用	62.9	57.6
	知識・技能	96.5	92.0
	思考・判断・表現	74.4	69.1
算数	教科全体	66.8	63.1
	基礎	80.5	74.8
	活用	37.7	38.2
	知識・技能	81.9	76.1
	思考・判断・表現	44.2	43.6

(令和5年5月9日実施)

①の全国学力・学習状況調査及び②の杉並区特定課題調査では、国語・算数ともに、東京都・全国の平均正答率をそれぞれ上回る結果となりました。どちらの調査においても、基礎的な学力が着実に身に付いてきていると言えます。

ふじみがおか

杉並区立富士見丘小学校

Fujimigaoka
Elementary school

校長 竹内 明子



令和5年10月号

令和5年9月29日発行



国語では、漢字や言語に関わる「知識・技能」の平均が非常に高い結果となっています。一方、条件に応じて自分の考えを記述するタイプの問題での誤答率が高かったため、今後は多様な文種や文型、文章に触れ、文章表現の機会を意図的に増やしていくことが有効であると考えられます。身に付けた言葉の知識を、自分の考えを表現するために活用できるよう指導してまいります。

②の算数においては、全体的には杉並区の平均と比較して高い正答率だったものの、「活用」問題での正答率が、区をやや下回る結果となりました。「割合」での誤答率及び無回答率が他に比べて高い傾向にあります。これは、例年同じような傾向が見られるため、今後の指導としても、前学年である5年生で割合を学習する際、できるだけつまづきを減らせるよう授業改善に努め、十分に習熟できるようにしていきます。また、教科書での学習に加え、一人一台タブレットを活用して、応用や発展の問題にも挑戦する機会を増やしたり、学んだことを活用する場面を積極的に取り入れたりして、児童自ら「学びを生かす」ことができるよう、授業改善するとともに今後の指導に生かしてまいります。

10月の生活目標

すすんで仕事をしよう

生活指導主任 高崎英明

10月に入り、厳しかった残暑も和らぎ、過ごしやすいい日が増えてきました。子どもたちは、新校舎での生活に慣れはじめ、様々な当番や係活動、高学年以上では委員会活動等を通して、日々、仕事に取り組んでいます。

話し合いを通して皆で仕事を考えたり、決めたりする活動は、子どもたちに積極的に社会へ参加していく意識を育みます。また、振り返りや改善を踏まえながら仕事を続けることは、探究心や責任感を育みます。子ども一人一人の個性は様々ですが、時にリードしたり、譲り合ったりしながら皆と協力し、すすんで仕事ができる力を育てていきます。

ご家庭においても、子どもは家族の一員として年齢に応じて仕事を任せ、それを達成することで、健全な自尊心を育てていきます。学校でも、家庭でも、その一員として仕事を任せ、小学校の6年間で共に子どもたちの心を育てていきましょう。

- ◆どんな仕事・役割でも、誠実に行う子どもに
- ◆周囲に目を向けて、自ら気付いて動き出す子どもに
- ◆一歩先を見据え、考えて行動する子どもに
- ◆働いて流す汗の心地よさを実感する子どもに